

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年7月25日(2024.7.25)

【国際公開番号】WO2023/084913

【出願番号】特願2023-559453(P2023-559453)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/50(2006.01)

C 0 8 G 59/56(2006.01)

C 0 8 L 63/00(2006.01)

C 0 9 D 5/02(2006.01)

C 0 9 D 163/00(2006.01)

C 0 9 D 7/63(2018.01)

C 0 9 D 7/65(2018.01)

10

【F I】

C 0 8 G 59/50

C 0 8 G 59/56

C 0 8 L 63/00 A

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 163/00

C 0 9 D 7/63

C 0 9 D 7/65

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月22日(2024.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エポキシ樹脂(A)、芳香環含有ポリアミン化合物又はその変性体を含むエポキシ樹脂硬化剤(B)、芳香族炭化水素ホルムアルデヒド樹脂のアルキレンオキサイド付加物及び変性芳香族炭化水素ホルムアルデヒド樹脂のアルキレンオキサイド付加物からなる群から選ばれる少なくとも1種の樹脂(C)、並びに水含有する、乳化型エポキシ樹脂組成物。

【請求項2】

前記芳香環含有ポリアミン化合物又はその変性体が、下記式(1)で示されるポリアミン化合物(b1)、フェノール化合物、アルデヒド化合物、及び下記式(1)で示されるポリアミン化合物のマンニッヒ反応生成物(b2)、並びに、スチレンと下記式(1)で示されるポリアミン化合物との反応生成物(b3)からなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項1に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

40



(式(1)中、Aは1,2-フェニレン基、1,3-フェニレン基、又は1,4-フェニレン基である。)

【請求項3】

前記変性芳香族炭化水素ホルムアルデヒド樹脂が、芳香族炭化水素ホルムアルデヒド樹脂をフェノール類で変性した樹脂である、請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

50

## 【請求項 4】

前記フェノール類がフェノール、クレゾール、ブチルフェノール、及びノニルフェノールからなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項3に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 5】

前記芳香族炭化水素が、トルエン、キシレン、メシチレン、及びプソイドキュメンからなる群から選ばれる少なくとも1種である、請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 6】

前記乳化型エポキシ樹脂組成物中の前記樹脂(C)の含有量が、前記エポキシ樹脂(A) 10  
(A)、前記エポキシ樹脂硬化剤(B)、及び前記樹脂(C)の合計量100質量部に対し1  
~20質量部である、請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 7】

前記乳化型エポキシ樹脂組成物の25における粘度が500 mPa・s以下である、  
請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物。

## 【請求項 8】

請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物を含む塗料。

## 【請求項 9】

請求項1又は2に記載の乳化型エポキシ樹脂組成物の製造方法であって、前記エポキシ  
樹脂(A)、前記エポキシ樹脂硬化剤(B)、及び、前記樹脂(C)を含む混合物を調製 20  
し、次いで、該混合物と水とを混合する工程を有する、乳化型エポキシ樹脂組成物の製造  
方法。

30

40

50